

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 日本銀行が政策金利を引き上げる判断をした理由を2つ本文中から読み取って簡潔に書きましょう。

2 政策金利を操作する目的として、最も正しいものを次の中から選んで記号で書きましょう。

- ㊦ 貿易で利益を上げるため。
- ㊧ 物価の安定と経済成長を促進するため。
- ㊨ 財政赤字を削減するため。
- ㊩ 為替レート(通貨の交換相場)を固定するため。

3 政策金利を0.25%から0.5%に引き上げた場合、1億円の貸出金額に対する利息は、どれだけ増えますか。

万円

4 アメリカの政策金利は4.25～4.50%、イギリス4.75%、中国3.1%です。利息だけを考えたとき、どの国で貯金するのが最も得か書きましょう。

日銀0.5%に利上げ 賃上げ期待、17年ぶり水準

日銀は24日の金融政策決定会合で、物価や景気のコントロールに使う政策金利の追加引き上げを決めた。無担保コール翌日物金利の誘導目標を現行の0.25%程度から0.5%程度にする。リーマン・ショック直後の2008年10月以来、約17年ぶりの高さとなる。物価はこれまでの予想より上振れするとして、引き続き利上げを検討する。具体的なベースについて植田和男総裁は記者会見で「予断を持っていない」と述べた。東京外国為替市場では円高ドル安が進み、一時1ドル＝154円台を付けた。

利上げ決定は24年7月会合以来、半年ぶり。25年春闘で高水準の賃金引き上げが見込め、トランプ米大統領の就任後も金融市場が落ち着いていると判断した。利上げには政策委員9人のうち8人が賛成し、中村豊明審議委員は「企業の稼ぐ

力が高まったことを確認した上で判断すべきだ」として反対した。

利上げで住宅ローンの変動金利が上昇するほか、企業が金融機関から借り入れる資金の支払利息も増える。一方、預金金利が上昇して受取利息が増える。日銀は今回の利上げが個人消費や企業の設備投資への冷や水にはならないとみる。

日銀が示した消費者物価上昇率の見通しは前年度比で25年度が2.4%、26年度は2.0%にそれぞれ引き上げられた。円安による輸入品の値上がりやコメの価格高騰を反映したため

決定会合 日銀の金融政策決定会合と
総裁会見 植田和男総裁の記者会見のポイント

- ▶ 政策金利の追加引き上げを決定。無担保コール翌日物金利の誘導目標を0.25%程度から0.5%程度にする
- ▶ 利上げ決定は2024年7月以来。政策金利はリーマン・ショック直後の08年10月以来、約17年ぶりの水準となる
- ▶ 25年春闘で高水準の賃金引き上げが見込め、トランプ米大統領の就任後も金融市場が落ち着いており、利上げが適切と判断
- ▶ 引き続き利上げを検討する。具体的なベースについては予断を持たない
- ▶ (景気を熱しも冷ましもしない)中立金利までは相応の距離がある

NIE
ワークシート
中～高校

NIEワークシートのこたえ（2025年1月28日公開）

◆ワークシート「日銀0.5%利上げ(社会)」

2025.1.25 朝刊 1面 解答

1 (25年春闘で)高水準の賃金引き上げが見込まれる
(トランプ米大統領の就任後も)金融市場が落ち着いている
(同意可 順不同)

2 ①

3 25 万円

4 イギリス